



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和5年11月24日 発行者 校長 柴山 敬

- 自らすすんで学ぶ子ども
- 互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- 健康や安全に気を付ける子ども

健康や安全に気を付ける 健康な体づくりは自分から意識して

本校の教育目標として掲げている目指す子供像の一つに「健康や安全に気を付ける子ども～健康や安全に対する関心を高め、体を動かす心地よさを実感させる」があります。子どもたちには生涯にわたって自分で健康管理をしていけるようになってほしいという願いを込めています。

インフルエンザに注意！

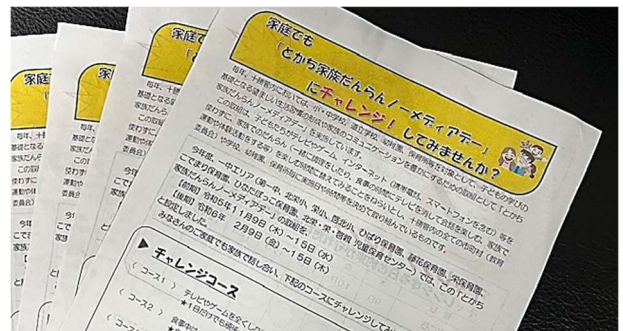
さて、帯広市内ではインフルエンザの感染が流行しており、本校を含め学級閉鎖などの措置がとられている学校が多数あります。インフルエンザの主な感染経路は接触感染や飛沫感染と言われています。必要に応じてマスクを着用することはもとより、できるだけ人混みを避けたり、外出後はしっかり手を洗ったりするなど、今一度、子どもが主体的に行動できるようご家庭で話題にさせていただけると幸いです。

学級閉鎖などへの対応

また、学級閉鎖などは学校医に相談して学校の設置者である市教委が実施について判断しています。本格的な冬を迎え、今後こうした急な対応が増える可能性があります。保護者の皆様への緊急の連絡は、これまでと同様に「楽メ」で配信しますので、適宜メッセージを確認していただくとともに、ご負担をおかけしますが、お子様のお迎えなどの対応についてお願いします。なお、学童保育センターを利用しているご家庭については、各自でご連絡ください。

「ノーマディアデー」に挑戦！

11月9日～15日に一中エリアの学校等で「とかち家族だんらんノーマディアデー」に取り組みました。（裏面へ続く）



日	曜	12月の行事予定
1	金	おび学（食育：5年） PTA会費納入日（高学年）
4	月	おび学（食育：4年） PTA会費納入日（予備日）
5	火	おび学（食育：3年） ALT（5・6年）
6	水	ALT（5・6年） Sアップ
7	木	おび学（食育：6年） 児童会③ 標準学力調査（3,5年） 読み聞かせ（1年）
8	金	標準学力調査（3,5年）
9	土	北栄げんきクラブ
11	月	おび学（食育：2年）
12	火	英検ESG（6年） ALT（3・4年）
13	水	学年研修 ALT（5・6年） Sアップ 給食費（低学年）
14	木	おび学（食育：1年） Sアップ 給食費（高学年） 読み聞かせ（3年）
15	金	クラブ⑦ 給食費（予備日）
18	月	にじいろタイム⑨ ALT（そらいろ）
20	水	Sアップ
21	木	読み聞かせ（2年）
22	金	2学期終業式 2学期の思い出インタビュー
23	土	冬休み（～1/11）

昨今、子どもがスマートフォンやタブレットパソコンなどでSNSや動画視聴を行うことが多くなっていますが、文部科学省によればそうした時間が長いほど、「全国学力学習状況調査」の各教科の平均正答率が低くなる傾向にあるそうです。また、インターネット利用に夢中になり過ぎて「ネット依存外来の受診者が急増」しているとして、各家庭でインターネット利用のルールをつくり、守りながら使うことを呼びかけています。

ノーマディアデーに取り組んだご家庭からいただいた感想などを紹介しますので、今後の取組の参考にしてください。

《子ども》

- ごはんのときはいつもテレビを観ていて、家族で話すことがなかったのですごく楽しかった。
- 以前もやっていたので簡単だった。今回もチャレンジして変わらず楽しかった。
- いつもより本を長く読めた。

《保護者》

- 正直、子どもには「テレビが観られなくて寂しかった」と言われましたが、会話が増えたり、運動や勉強をして過ごしたり大変有意義だった。
- 「ごはんの時はテレビをつけない」はできたので、今度は別のコースにチャレンジ！
- やっぱりテレビやスマホから離れられません…。

体を動かす心地よさ

本校ではコミュニティ・スクール（CS）の取組として、子どもたちに体を動かすことの心地よさを知ってもらおうと、夏休みには「ラジオ体操のつどい」や秋には「ファン・ランニング」（『うらほろマラソン』出場）を実施しました。これからも取組の充実を図ってまいりますので、よろしくをお願いします。

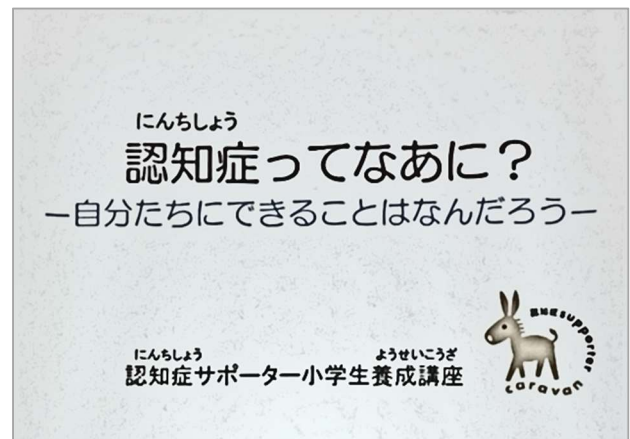


さて先日、ちくだい KIP 理事の村田浩一郎さんを講師に迎え、マット運動や跳び箱の指導をしていただきました。特に跳び箱は恐怖心や苦手意識をもっている児童が比較的多くいる種目。村田先生は、まず子どもたちに四つ足での「クマ歩き」や両手を床につけた「ウサ跳び」を経験させ、そして助走なしで跳び箱の一段目から少しずつ高さを上げて跳ばせていきました。跳び箱の奥の方へ両手をつき、頭の位置は肩よりも前へ……。短い時間でしたが子どもたちはコツをつかむことができたようです。

村田先生は「子どもたちは、楽しみながらたくさん挑戦して、たくさん失敗して上手になっていくんです。」と話していました。きっと体を動かす心地よさを感じてくれた児童もいたことでしょう。

認知症ってなあに？

帯広市社会福祉協議会認知症地域支援推進委員の方を講師に迎え、5年生が認知症について学びました。



「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」の推計では、65歳以上の認知症患者数は2020年に約602万人、2025年には約675万人（有病率18.5%）と5.4人に1人程度が認知症になると予測されています。

今回は脳の病気について勉強しましたが、がんや糖尿病などの生活習慣病について理解を深めることも、子どもたちが自分で健康管理をしていく上で必要なのでしょうか。